

# 日本社会学史学会ニュース No. 147

日本社会学史学会事務局  
(2024年3月11日発行)

## 1. 2024年度・第63回日本社会学史学会大会について

### (1) 自由報告の募集

本学会2024年度大会は、6月22日(土)と23日(日)の両日、立正大学文学部(東京・品川キャンパス、世話人・鈴木健之会長)において、対面式で開催いたします。

つきまして、自由報告の申し込みを受け付けいたします。報告を希望される会員は、①氏名、②所属、③報告題目、④住所(連絡先)およびアドレスを明記され、4月15日(月)正午まで、事務局宛メール([mail@jashs.jp](mailto:mail@jashs.jp))にて、お申し込みください。締め切り後はいかなる理由(パソコン通信障害等)がございまして一切受理いたしません。締め切り時間の厳守をお願いします。

感染防止対策を徹底しての大会開催を予定しております。会員各位のご協力を重ねてお願い申し上げます。

自由報告の日時は、原則6月22日(土)を予定しております。報告時間は15分、質疑応答10分です。(報告人数により報告日時変更の場合もあります)

### (2) 2023年度大会の概要

正式なプログラムは、5月下旬発送ですが、現時点での予定は下記のとおりです。

6月22日(土) 自由報告、理事会、総会

23日(日) シンポジウム開催

### (3) 大会シンポジウム

☆共通テーマ:「社会学説史を通じて『社会学』を問うⅢ」

「社会学」の流動化と多様化—1970年代以後の社会学—

☆報告者(仮題)(敬称略)

内田隆三(東京大学)「日本の社会学者にみるフーコーへの接近と交差—1970年代以降の幾つかの経験から—」

千田有紀(武蔵大学)「フェミニズムが社会理論にもたらしたもの」

三谷武司(東京大学)「機能分析と機能分化—ルーマン学説における方法と理論—」

☆討論者:片桐雅隆(千葉大学)、片上平二郎(立教大学)

☆司会:研究担当理事

## 2. 会務報告

(1) 2023年度第4回理事会開催（1月27日（土）オンライン Zoom）

- ① 2023年度本学会研究例会について
- ② 2024年度本学会大会シンポジウムについて
- ③ 『社会学史研究第46号』編集状況について
- ④ 本学会HPリニューアル作業について

(2) 本年度本学会研究例会開催（1月27日（土）オンライン Zoom）

共通テーマ「作田啓一の社会学」

司会 鈴木健之（立正大学）

- ① 報告者：岡崎宏樹会員（神戸学院大学）  
題 目：「作田啓一『価値の社会学』再考」
- ② 報告者：出口剛司会員（東京大学）  
題 目：「近代の超克と初期作田における『価値の社会学』構想」

## 3. 2023年度本学会春の関西研究例会開催のお知らせ

日 時：2024年3月16日（土）、13時30分～17時

場 所：滋賀大学（大津サテライトプラザ会議室）

- ① 報告者：千葉芳夫氏（佛教大学名誉教授）  
題 目：「ヴェーバー社会学とシュタムラー」
- ② 報告者：藤井亮佑氏（関西学院大学）  
題 目：「死の社会学史から－対象と方法－」

## 4. 本学会第9期理事選挙と会費納入のお願い（申し立てと照会）

本学会第8期理事任期満了にともなう、理事選挙が4月に実施されます。

つきまして、現時点で本年度までの本学会年会費未納の方には、至急、納入いただきますようお願い申し上げます。当該年度まで（2023年）学会費未納の会員には、選挙権・被選挙権がございません。

なお、本学会理事選挙にともなう、年会費納入状況やその他ご不明のある会員の方は、3月26日（正午）までに、事務局宛メールで申し立ておよび照会をおこなってください。それ以降の申し立ては受け付けられません。ご協力をお願いします。

☆日本社会学史学会事務局

<http://www.jashs.jp/>

[mail@jashs.jp](mailto:mail@jashs.jp)

〒156-8550

東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部社会学研究室内

TEL 03-5317-8978（庶務担当）

FAX 03-5317-9423